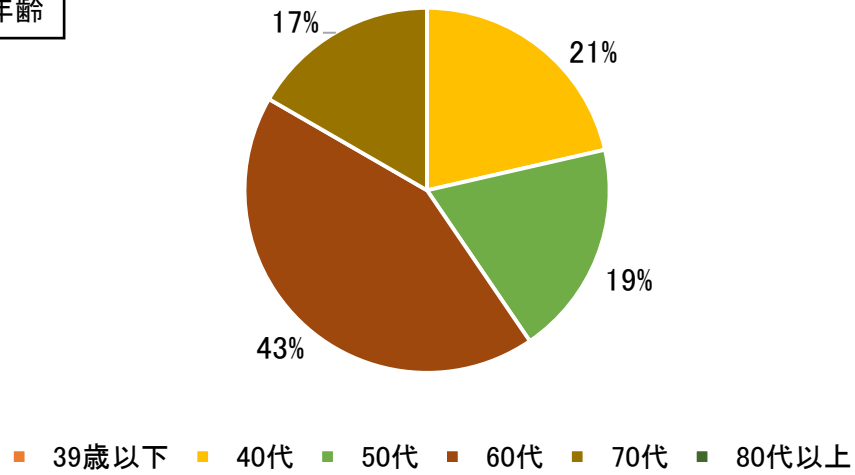


担い手意向把握(個人)

参考資料 2

問1 あなた自身のことについて、お尋ねします。記入またはあてはまる番号に○をしてください。

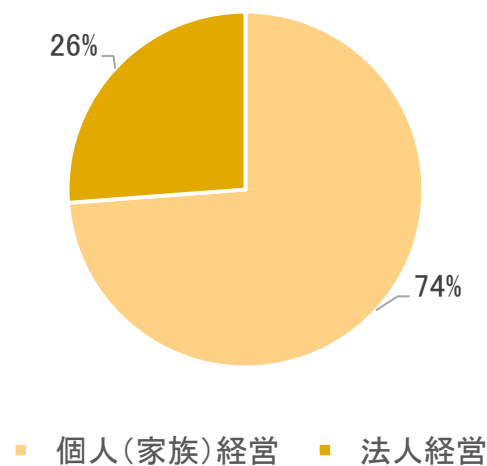
年齢



・年齢は「60代」が43%と一番多く、次いで「40代」が21%、「50代」が19%となっています。

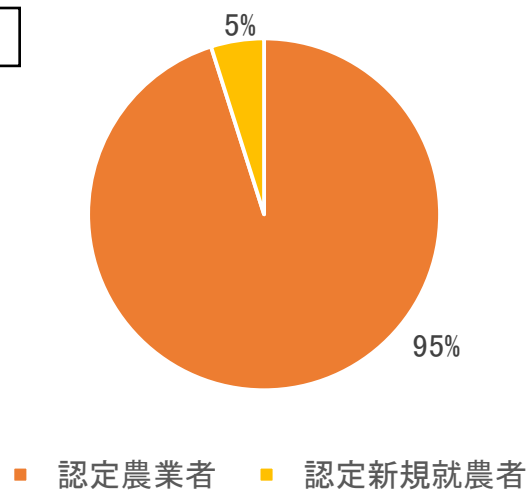
・「39歳以下」および「80代以上」は、0%となっています。

経営の種類



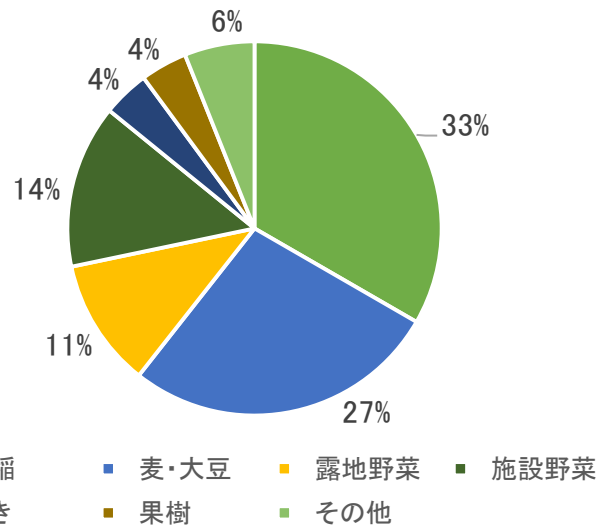
・経営の種類は、「個人(家族)経営」が74%で、「法人経営」が26%となっています。

担い手の該当



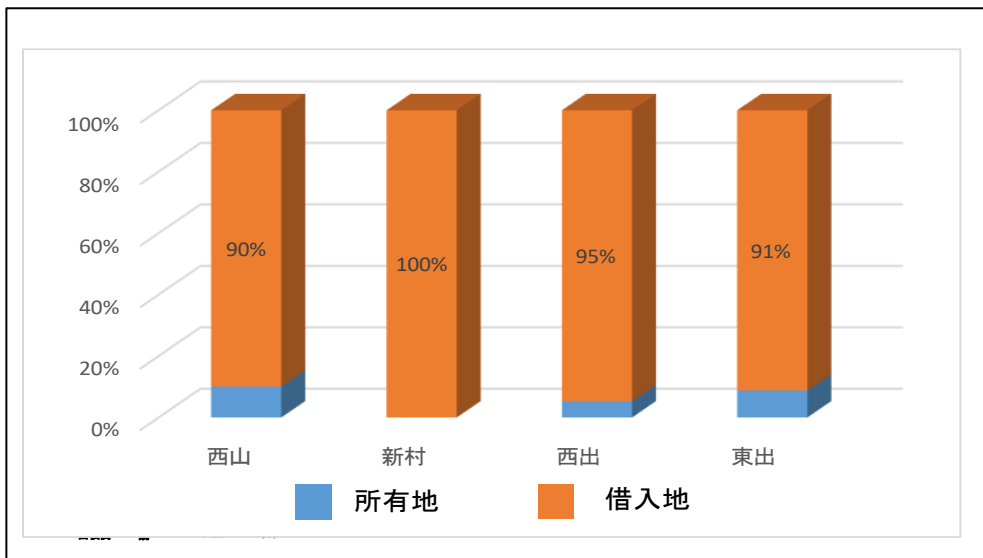
・担い手の該当は、「認定農業者」が95%を占め、「認定新規就農者」が5%となっています。

経営品目

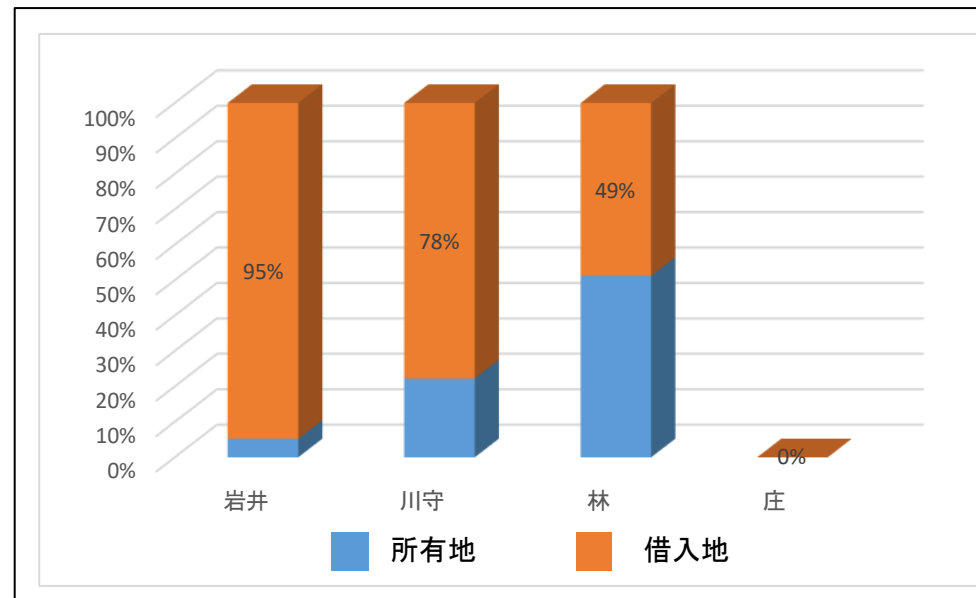


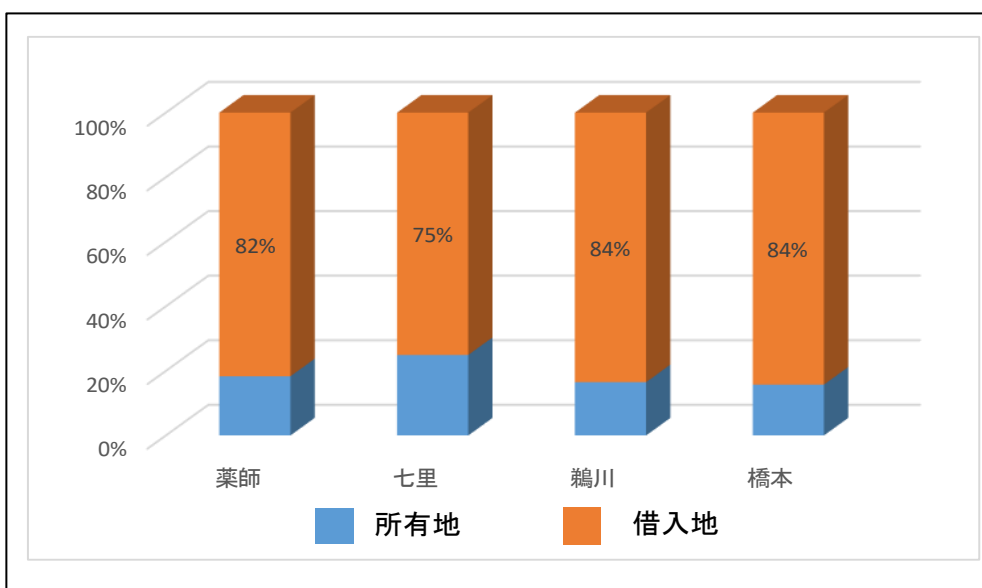
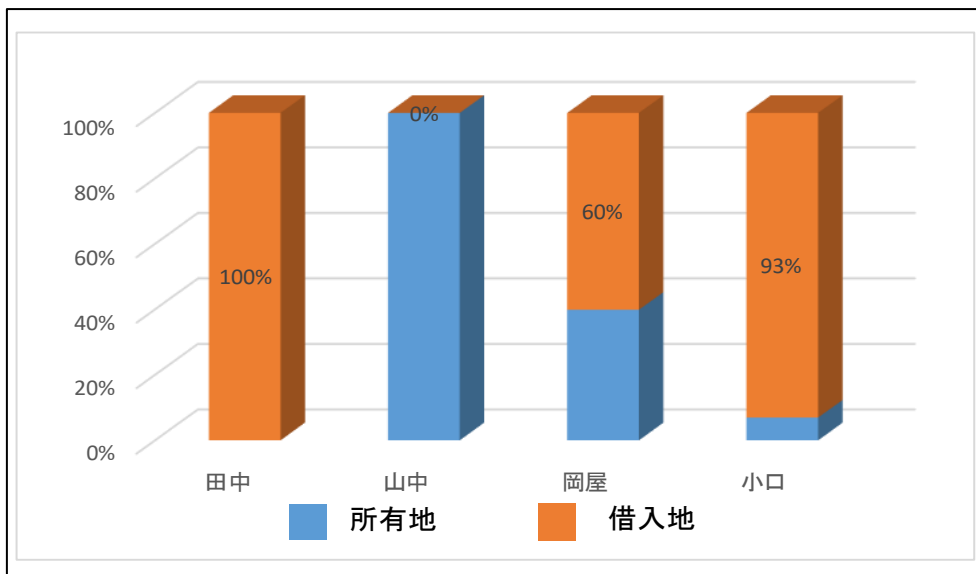
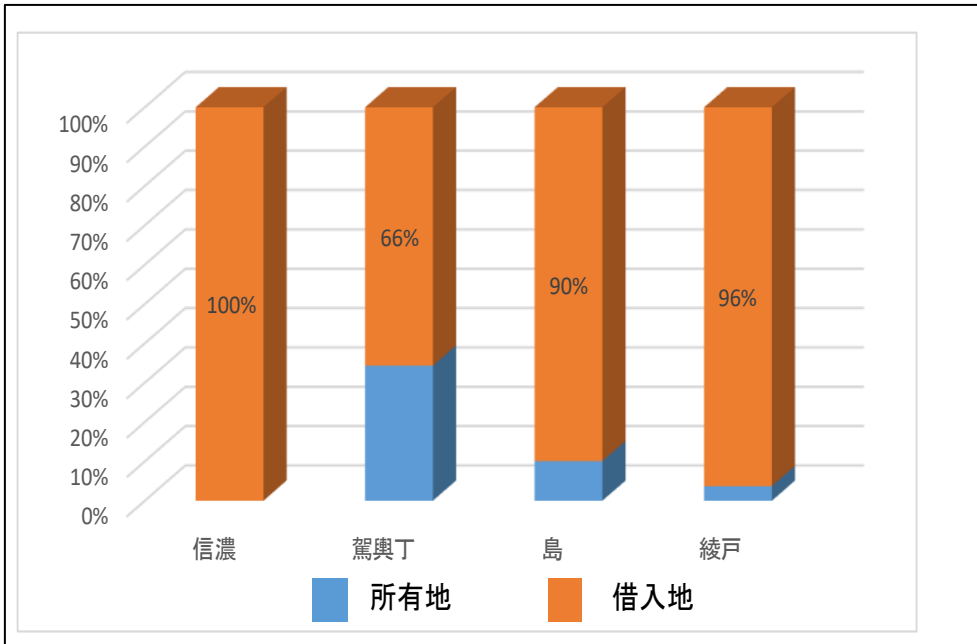
・経営品目は、「水稲」、「麦・大豆」が60%と最も多く、次いで「施設野菜(ハウス)」、「露地野菜」の順番となっています。

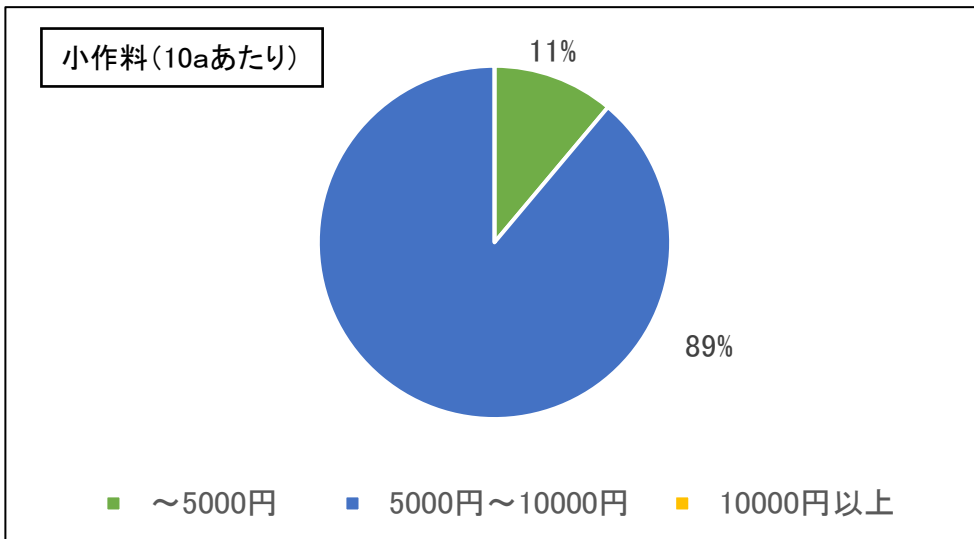
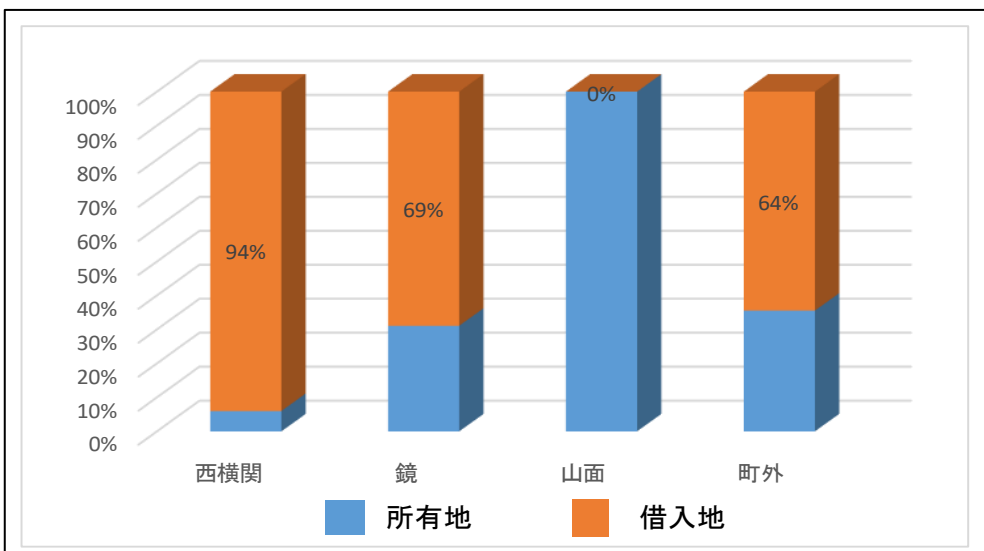
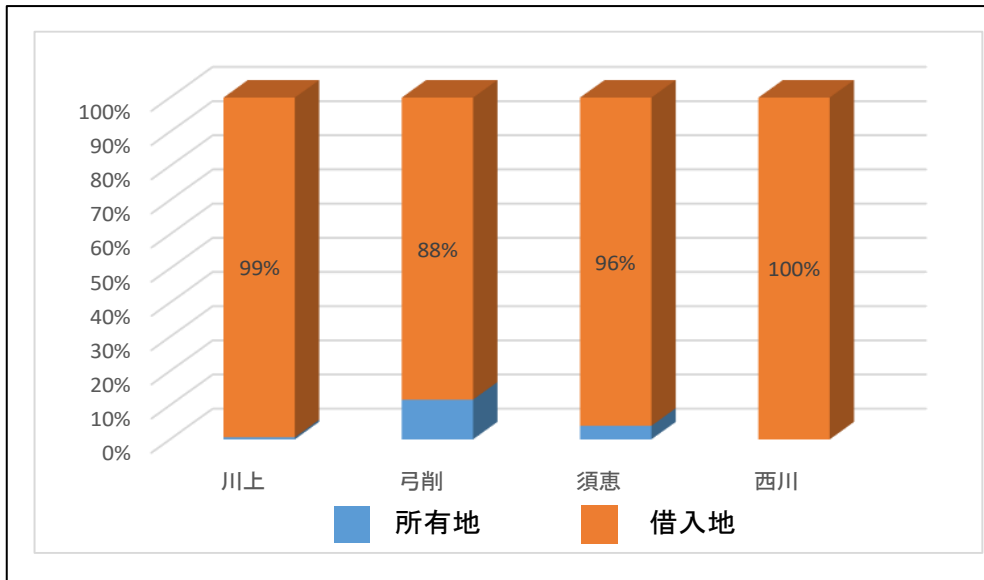
経営面積(所有地または借入地)



・経営面積は「借入地」が多いですが、一部の集落では「所有地」が多い所もあります。

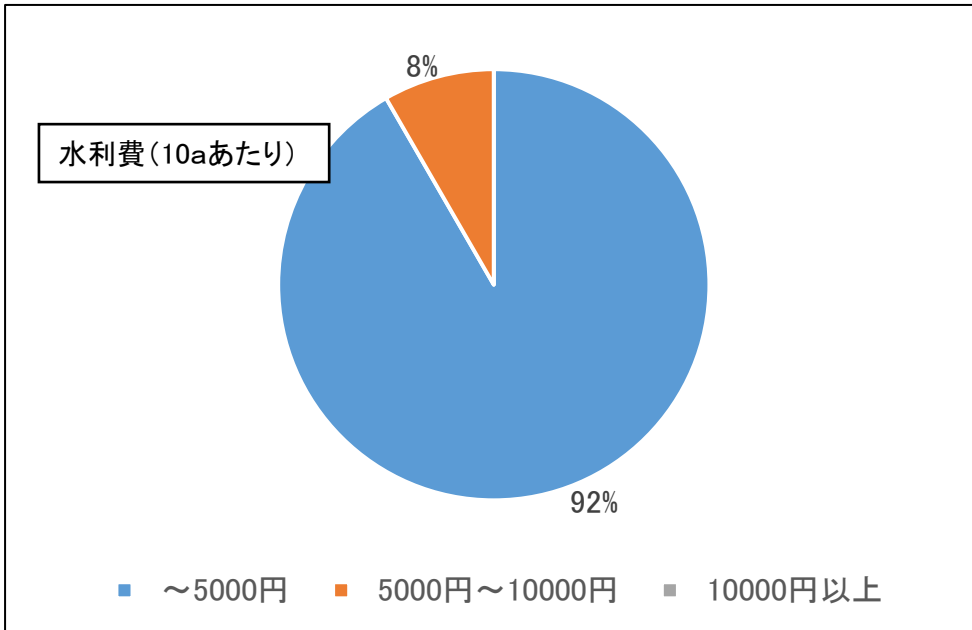






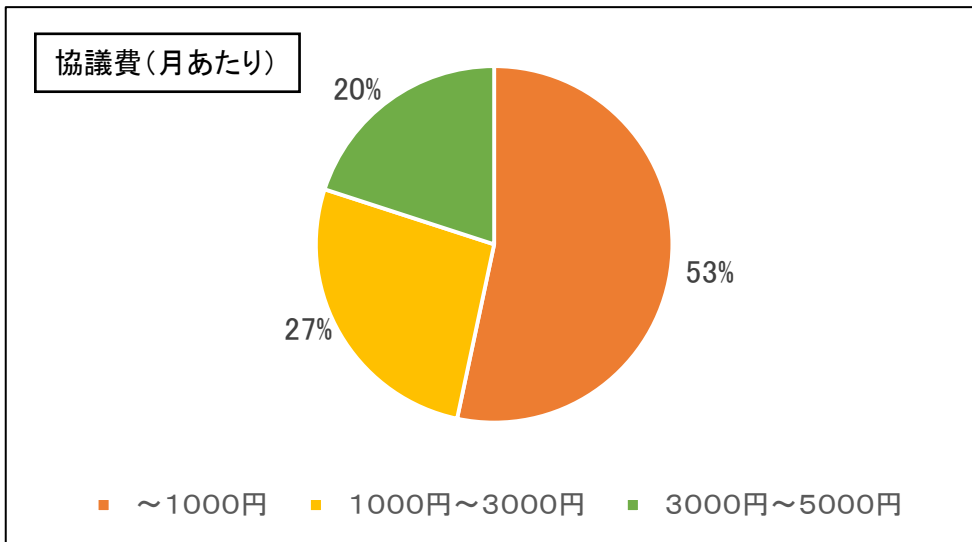
・小作料は「5,000円～10,000円以内」と回答した方が89%、「5,000円以内」と回答した方が11%となっています。

・「10,000円以上」と回答した方はいません。



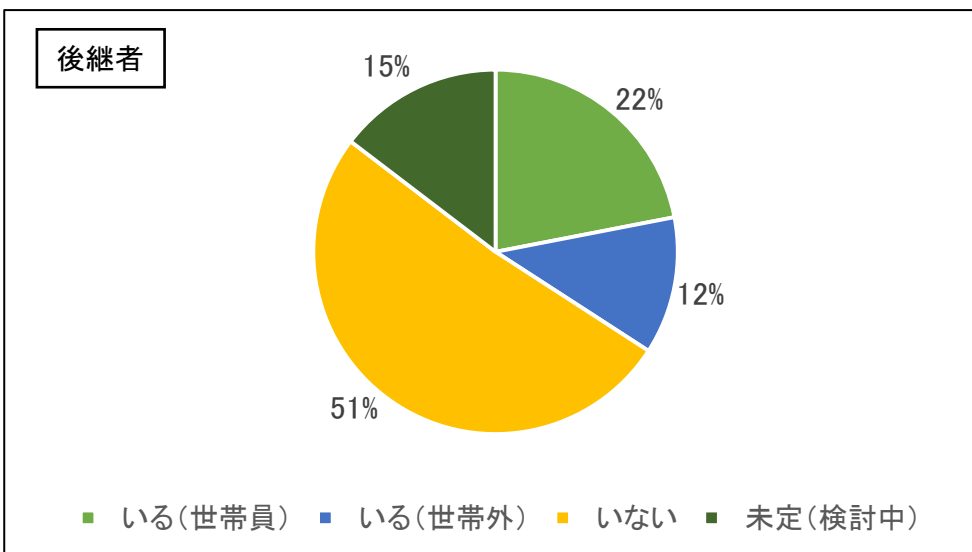
・水利費は「~5,000円」と回答した方が92%、次いで「5,000円~10,000円」と回答した方が8%となっています。

※日野川用水に係る水利費とは別になります。



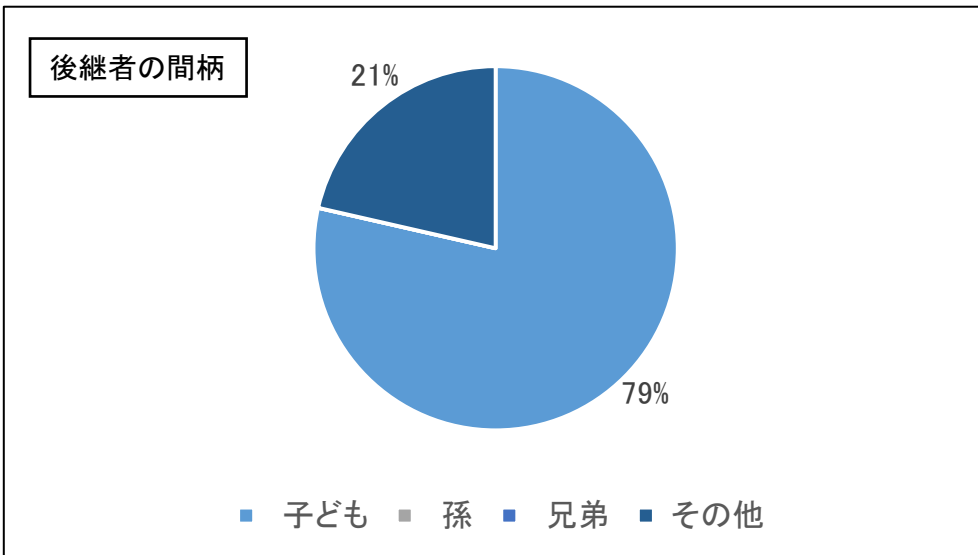
・協議費は「1,000円以内」が53%、「1,000円~3,000円」が27%、「3,000円~5,000円」が20%となっています。

問2 あなたには、農業経営を継ぐ後継者はいますか。あてはまる番号に○をしてください。

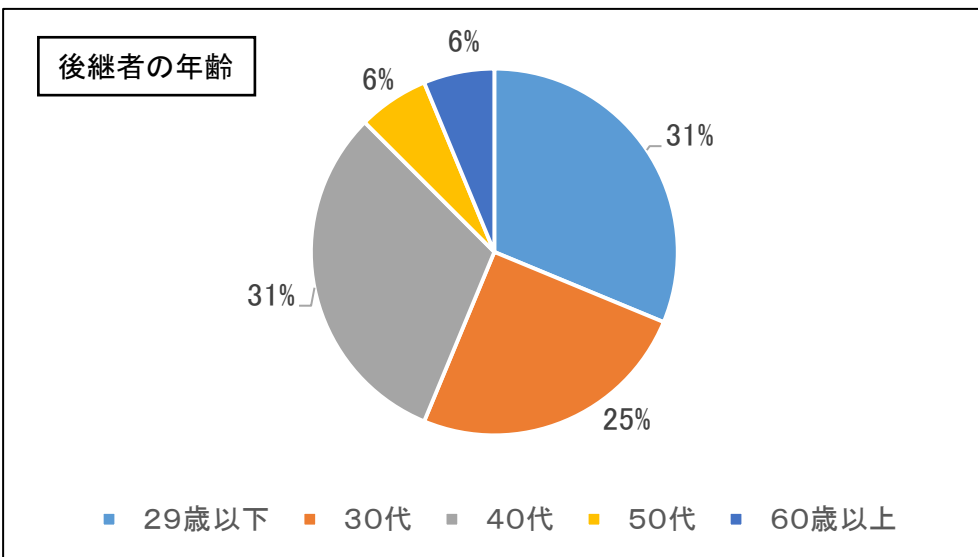


・後継者が「いる」と答えた方は34%となっていますが、「いない」または「未定(検討中)」と回答した方は66%となっています。

問3 問2で「1. いる(世帯員)」または「2. いる(世帯外)」のいずれかに回答された方にお尋ねします。後継者がいる場合、後継者の間柄、年齢を教えてください。

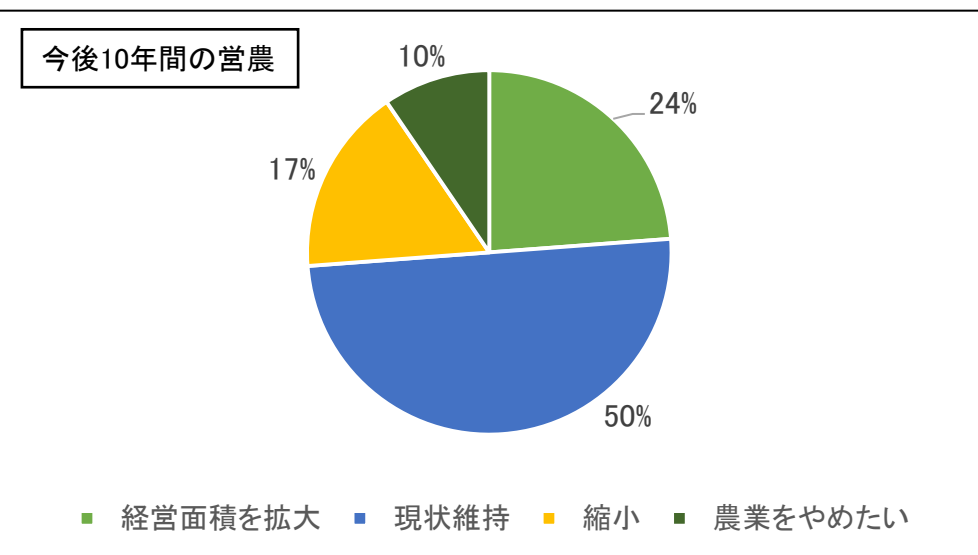


・後継者の間は、「子ども」と回答した方が79%、それ以外は「その他」となっています。



後継者の年齢は、「29歳以下」または「40代」が31%と最も多く、次いで「30代」が25%となっています。

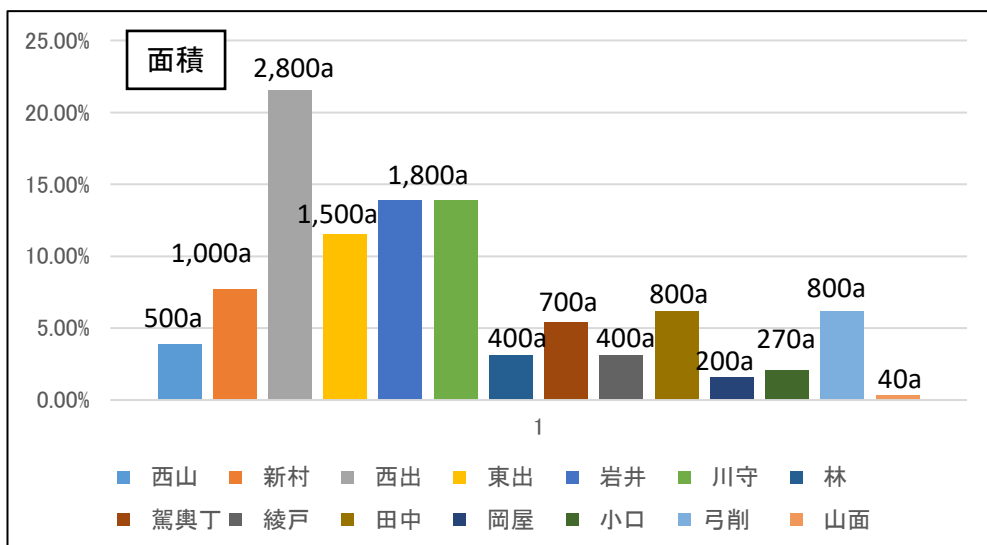
問4 経営(耕作)面積は、今後10年間でどうされるつもりですか。あてはまる番号に○をしてください。



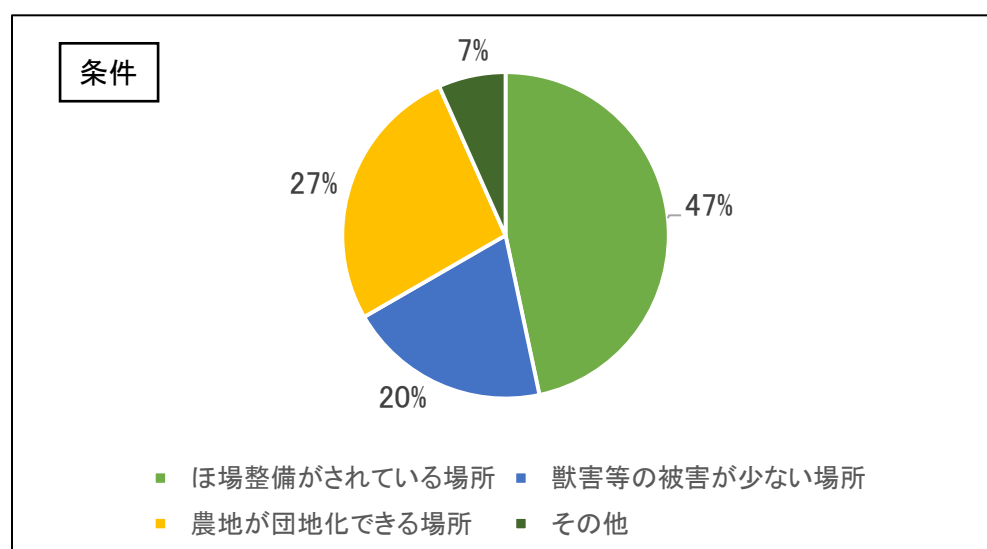
・今後10年間の営農では、「現状維持」と回答した方が50%と最も多く、次いで「経営面積を拡大」と回答した方が24%、「縮小」と回答した方が17%となっています。

・「農業をやめたい」と回答した方は10%となっています。

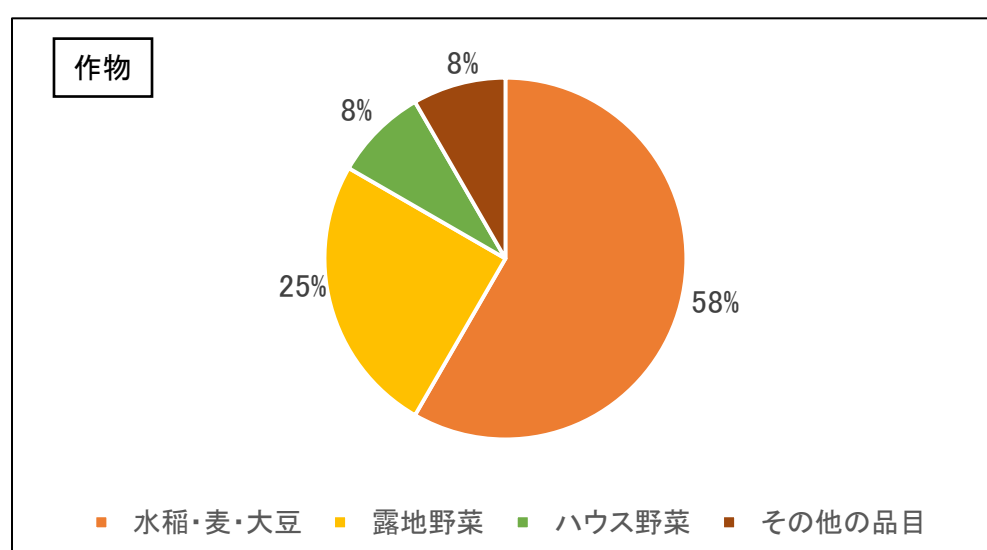
問5 問4で「1. 経営規模を拡大したい」と回答された方にお尋ねします。
 規模拡大したい集落および面積、農作物は何ですか。
 また、希望借受期間は何年ですか。あてはまる番号に○をしてください。



・規模拡大したい集落は、「西出」で2,800aと最も多く、次いで「岩井」または「川守」で1,800a、「東出」で1,500aとなっています。

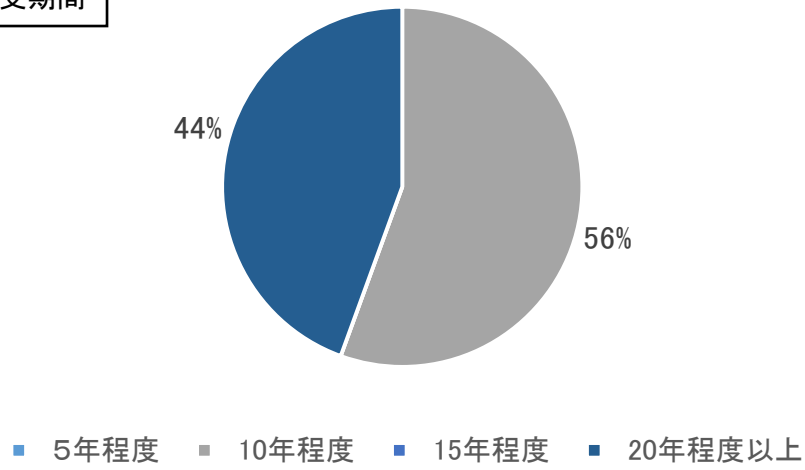


・規模拡大の条件としては、「ほ場整備がされている場所」と回答した方が47%、次いで「農地が団地化できる場所」と回答した方が27%、「獣害等の被害が少ない場所」と回答した方が20%となっています。



・拡大する場所での作付けについては、「水稲・麦・大豆」と回答した方が58%、次いで「露地野菜」が25%となっています。

借受期間

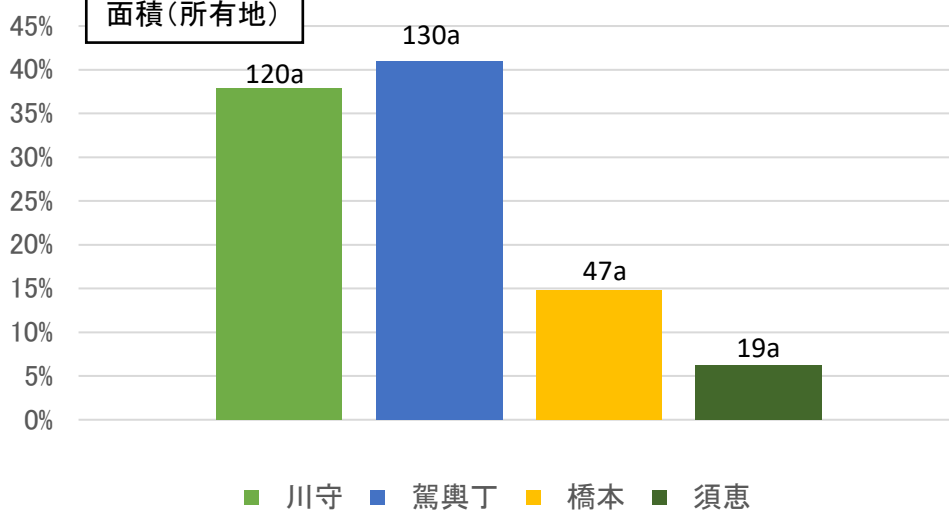


・借受期間は、「10年以上」と回答した方が56%、「20年以上」と回答した方が44%となっています。

問6

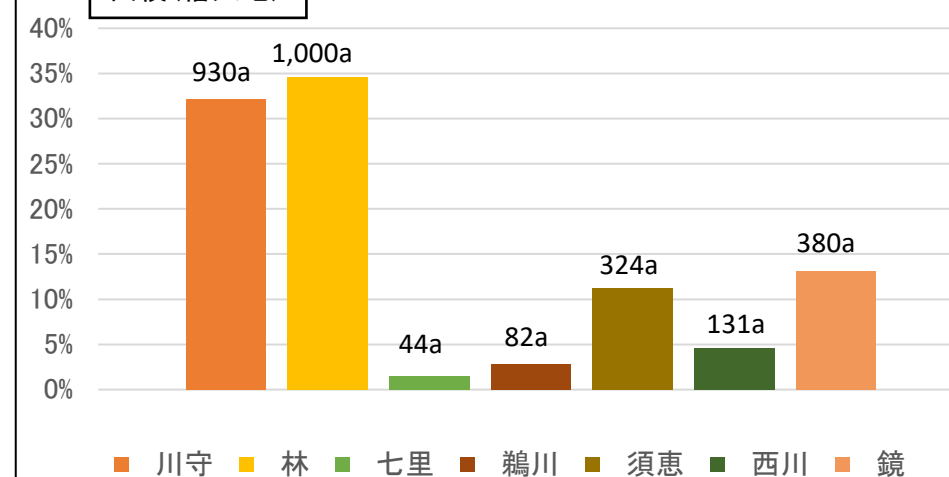
問4で「3. 縮小したい」と回答された方にお尋ねします。
今後、10年以内に縮小したい農地およびその面積等はどれくらいですか。
記入をしてください。

面積(所有地)



・所有地における縮小したい集落は、「駕輿丁」で130a、次いで「川守」で120a、「橋本」で47aとなっています。

面積(借入地)

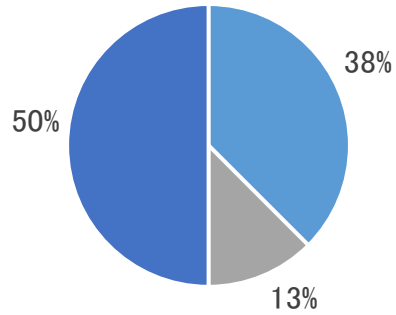


・借入地における縮小したい集落は、「林」で1,000a、次いで「川守」で930a、「鏡」で380aとなっています。

<p>時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5年後</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>5～10年後</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>10年後～</td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	割合	1～5年後	33%	5～10年後	17%	10年後～	50%	<p>・縮小する時期は、「10年後以降」と回答した方が50%、「1～5年後」と回答した方が33%、「5～10年後」と回答した方が17%となっています。</p>		
時期	割合										
1～5年後	33%										
5～10年後	17%										
10年後～	50%										
<p>預け先</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>預け先</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別・法人経営体</td> <td>67%</td> </tr> <tr> <td>集落や市町・農業委員会の調整に一任</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>集落営農組織</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>所有者に返す</td> <td>17%</td> </tr> </tbody> </table>	預け先	割合	個別・法人経営体	67%	集落や市町・農業委員会の調整に一任	17%	集落営農組織	17%	所有者に返す	17%	<p>・縮小した際の預け先は、「個別・法人経営体」と回答した方が67%、次いで「集落営農組織」または「所有者に返す」と回答した方が17%となっています。</p>
預け先	割合										
個別・法人経営体	67%										
集落や市町・農業委員会の調整に一任	17%										
集落営農組織	17%										
所有者に返す	17%										

<p>問7</p>	<p>問4で「4. 農業をやめたい」と回答された方にお尋ねします。 あと、何年くらい農業を続けられそうですか。あてはまる番号に○をしてください。 また、自己所有地は誰に耕作を任せたいですか。あてはまる番号に○をしてください。</p>								
<p>時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～2年</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>3～5年</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>6～10年後</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>	時期	割合	1～2年	20%	3～5年	20%	6～10年後	60%	<p>・離農の時期では、「6～10年後」と回答した方で60%、「1～2年」または「3～5年」と回答した方で20%となっています。</p>
時期	割合								
1～2年	20%								
3～5年	20%								
6～10年後	60%								

預け先



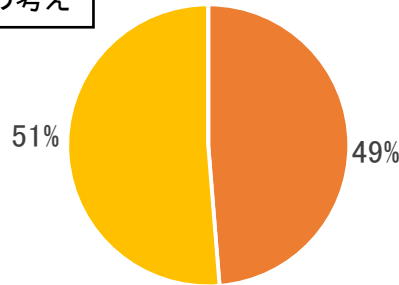
- 集落や市町・農業委員会の調整に一任
- 集落営農組織
- 個別・法人経営体

・離農した際の預け先は、「個別・法人経営体」と回答した方が50%、次いで「集落や市町・農業委員会の調整に一任する」と回答した方が38%、「集落営農組織」と回答した方が13%となっています。

問8

今後、担い手の農業経営の安定化を考えた場合、農地の耕作者を変更し、耕作者(担い手)ごとに農地を団地化(集約化)することが望ましいと考えますが、あなたのお考えについて、あてはまる番号に○をしてください。

団地化(集約化)への考え



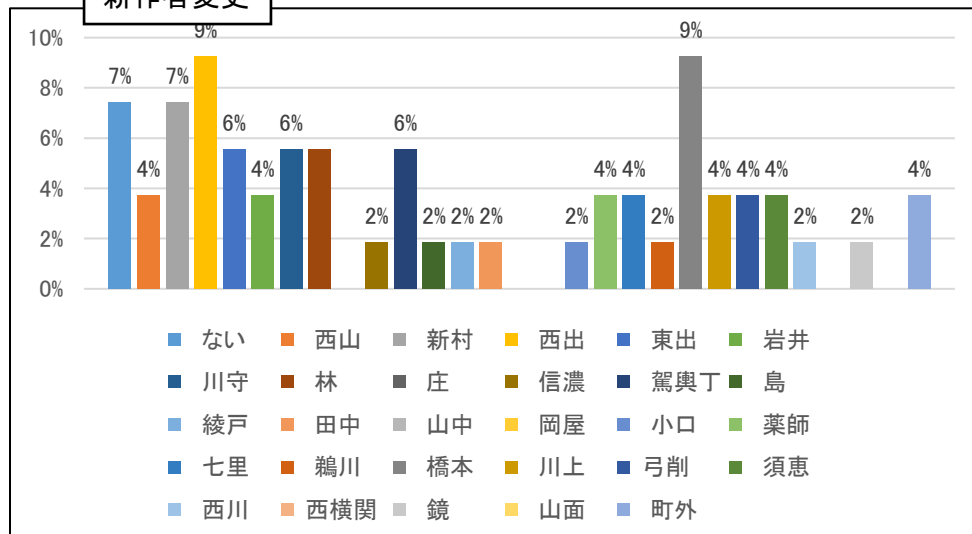
- 集約化を進めるべきで、自分も協力したい
- 集約化の必要性は分かるが、今のままがいい
- 集約化を進める必要性を感じない

・農地の集約化は、「必要性は分かるが今のままがいい」と回答した方が51%、「集約化を進めるべきで、自分も協力したい」と回答した方が49%となっています。

問9

問8で「1. 今後、農地の集約化を進めるべきで、自分も協力したい。」と回答された方にお尋ねします。あなたは、他の担い手との交換(耕作者変更)を行ってもよい集落はありますか。あてはまる番号に○をしてください。

耕作者変更



・今後、農地の集約化に向けて、耕作者変更を行ってもよい集落は「西出」、「橋本」が最も多く、次いで「新村」となっています。

問10	その他(自由回答)
-----	-----------

- ・農地の集団化は大切だと思いますが、それ以上に地域の営農活動をどのようにするのかの方が大切だと思います。担い手がない中であと5年存続できるかが心配です。年々高齢化していく中で、集積化をしてもできる人がいません。いずれかは、大規模な所にあずけるのであれば自然と集積化していくのでは
- ・集約化も考えはいいのですが、現状の田の状況から土手や川など草刈りなどの作業がともなう土地への集約は望まない。十分に管理された耕作者の土地ならいいが、荒れた田や条件の悪い田はしたくない。
- ・今後はもう少し見通しをもった計画を立てていきたいと考えていますが、現時点でということで、申し訳ないです。
- ・私には後継者がいませんが、後継者がおられる家庭においても農業を継がないと言う声を耳にすることが多い。子供のころは、田が忙しい時は手伝いに出ていたが、現在では忙しい時、子供が手伝いに出ている姿を殆ど見ることがない。なぜこのようになったのかを考え改善しなくてはならないと思います。20代から50代の地権者に小作者から耕作地を返された時の意向調査を一度されては。
- ・竜王町の多くの集落営農法人では後継者を確保できていないのが現状だと思います。その様な未来が無い法人への補助金を交付しても意味が無いので個人で法人経営されていて雇用もしている強い経営体の補助金交付を集約して、竜王町の農地の維持・管理をしてもらうべきだと思います。
- ・集約化した場合、転作はどうなるのか(輪番)。集落営農法人の高齢化。10年後、集落営農法人が経営ができているのか(今の人の年齢が60~70際ぐらいだから)。農業(特に稲作)に魅力がなくなっている。
- ・集落や近隣地区での集約化協議会の設立が必要。県をもっとまきこむ。
- ・担い手に農地が集約された後の課題を見据えるべき。生産調整田の配分やブロックローテーション等。農業施設(農道や排水路)の維持管理、集落まるごと保全活動の強化等。
- ・当事業には主体と考える事業とはあまり関係ないと思うが、農地もあるので稲作は現在のところしていないが、今後のことを考えるのは農地の有効利用(開発して売却)も考えなければいけないと思う。(現地域では農業をする人が高齢または辞めたい人もたくさんいます。ただ売値が安いから売れない現実があります)滋賀県には全国から募集しても家賃とか生活費が高いので募集できない現実もあります。生活もできる研修施設を作ってはどうか。
- ・集約のイメージの仕方(区分け)が不適。集落内外の作業場(倉庫)に近い方向で考えるべき。